

■ 懇親会（18：40～20：00）

司会 細山勝三郎

開会のことば 懇親会委員長 上原伸一

来賓挨拶 第2590地区パストガバナー 鈴木清次

乾杯 第2590地区パストガバナー 金杉 誠

懇親

「手に手つないで」斉唱 ソングリーダー 内藤幸彦

閉会のことば IM副実行委員長 井上裕司

ガバナーご挨拶

国際ロータリー第2590地区 ガバナー 斉藤二郎

INTERCITY MEETINGは、近隣クラブが共通のテーマで語り合い、知り合いを広める機会であり、その意義は大きく、殆どのIMはフォーラムと懇親会がセットになった形式が多いようですが、セミナーの形式がとられることもあるようです。IM開催について否定される会員もおられるようですが、私は近隣クラブとの横の情報交換、そして親睦を深める機会が少ない現状から、日本で定着している素晴らしい会合ですから継続すべきであると考えております。今年度の当地区第1・第2・第3グループ合同IMは、テーマに地区重点目標の一つである「『ロータリーの綱領』について更なる学習をしよう」を取り上げていただきました。国際ロータリー第2630地区パストガバナー竹腰兼壽氏をお迎えし、当地区鈴木清次氏パストガバナー、金杉誠直前ガバナーの三名の皆様で鼎談方式にて進行していただきます。ロータリアンたるものロータリークラブに入会された以上、綱領を受諾し、クラブ定款・細則を遵守しこれに拘束されることを受諾している訳ですから、ロータリアンにとって綱領・定款・細則は金科玉条のきまりと申し上げてよろしいかと思います。本日は、その中の一つである『ロータリーの綱領』について、ロータリアンとして経験豊富な三人のお話しをお伺い致します。又、社会奉仕活動（高齢者福祉）の一環として「プロバスクラブの設立を検討しよう」も本年度地区重点目標の一つです。第二部では一昨年実際に設立した当時の川崎西RC会長三間悌司氏と、設立から現在まで川崎西プロバスクラブの会長をお勤めの大園房雄氏のお二人の体験談をお聞きし、設立の参考にして頂けたらと存じます。主催者として

第1グループ杉田ガバナー補佐、第2グループ宗澤ガバナー補佐、第3グループ吉澤ガバナー補佐、そしてホストクラブ川崎中RC鹿島一彦会長、伊藤文治実行委員長始め会員皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

IM開催のことば

第1Gガバナー補佐 杉田範夫

第2Gガバナー補佐 宗澤文良

第3Gガバナー補佐 吉澤和久

2006年～07年度ウィリアムB・ボイドRI会長は『本年度のテーマ「LEAD THE WAY」「率先しよう」はロータリアンが世界を変える力を持っているという私の信念を表しています。親睦と奉仕を通して明るい未来をもたらすために120万人のロータリアンが力を合わせて率先していくのです』と言われております。又、当地区斉藤二郎ガバナーは「率先しよう」に関連して十項目の地区目標を設定されました。今回第1、第2、第3グループはこの十項目の中の5、「ロータリーの綱領」について更なる学習をしよう。10、社会奉仕活動（高齢者福祉）の一環としてプロバスクラブの設立を検討しよう。の二項目をIMのテーマとして開催することにいたしました。第一部は講師に国際ロータリー第2630地区パストガバナー竹腰兼壽氏、国際ロータリー第2590地区パストガバナー鈴木清次氏、同じく金杉誠氏をお迎えしてロータリー鼎談「ロータリーの綱領について」を展開していただき、ロータリーの奉仕を導く羅針盤としての「ロータリー綱領」について更なる学習をしていただきたいと存じます。第二部は講師に国際ロータリー第2590地区副幹事三間悌司氏、川崎西プロバスクラブ会長大園房雄氏をお迎えして「プロバスクラブ」について学習をしていただき、今後のプロバスクラブ設立を検討する一助としていただければ幸甚に存じます。第三部懇親会は会場をホテル ザ・エルシィ5Fに移動いたしますが、最後まで大勢のロータリアンの皆様にご参加いただき、本日の多くのロータリアンとの出会いを大切に、今後共に「率先しよう」のテーマを実践してまいれば幸甚に存じます。宜しく願い申し上げます。